



HAPPY NEW YEAR!



今年も「友情」をテーマにします！

ポーポキの目標 2010年

1. 『ポーポキ、平和ってなに色？ポーポキのピース・ブック1』、『ポーポキ、友情ってなに色？ポーポキのピース・ブック2』の活用を通して、ポーポキの仲間を増やします！
2. ポーポキ・ピース・プロジェクト主催のものを含めて、国内外でワークショップなどの活動を続けて、仲間を増やします！
3. 新しい取り組み、ポー会メンバーの発案や企画なお、色々な活動の中にポーポキちゃんが入り、ポーポキの仲間の輪をさらに広げていきます！
4. 今まで見て来た世界の状況(パレスチナなど)を報告し、今後もフォローします！
5. 皆様に少しでもよろこびを与えます！

皆様のご参加をお待ちしています。本年もよろしくお願ひします！

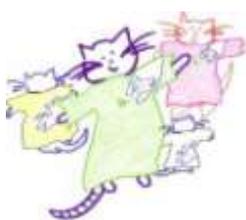
Popoki's Hot News



ポーポキ・ピース・チャレンジ!「いのちって、なに色?」森住卓写真展(2010年1月8日-18日)、講演「レンズを通しての平和といのち」(講師:森住卓)(1月8日)とピース・マップづくり(1月9日)は無事に終わりました。期間中、写真展を見ていただいた方は1100人も!参加者、来館者、関係者の皆様、ありがとうございました!
*ポーポキ・ピース・チャレンジ!報告は、2回にわけてご報告します。



ポーポキ in パレスチナ/イスラエル2! 2009.12.23-2010.1.4
ポーポキ・ピース・プロジェクトのメンバー4人で行ってまいりました。今回も大きな学びとなり、とてもよかったです。過酷な現状にもかかわらず、パレスチナの友人たちの優しさ、笑顔、人間らしさに感動する毎日でした。写真・ビデオを使っての報告会、ポーポキ通信による報告など、近日中に計画・実施する予定です。もうしばらくお待ちください!パレスチナ、イスラエルの友人たちへ感謝!



ポーポキTシャツを販売しています!
サイズ:SS(160), S, M, L, LL(白のみ)(少し大き目)。
カラー:グリーン、ピンク、黄色、白。
値段:¥1500 注文方法:popokipeace@gmail.comへ。
注文されたものは、次回のポー会(2.9)で受け取れます。



友だちからの報告!

宇留賀佳代子

11月と、12月に、市内の小学校で平和についての会があり、ポーちゃんの本も紹介しました。そのうち一校は、すでに二冊とも「ポーポキ」シリーズを図書室に取り入れて、子供たちに紹介してくださっていました!以下、子供たちの感想の抜粋です。

「平和ってなんだろう、ということを考えてみようと思いました。」
「どうやったら戦争をなくせるか、考えていきたい。」
「平和について考えよう、ということをやってみよう。」
「私たちのできる『平和』をやっていきたい。」
「戦争は人の心の中で起きることだから、人の心の中に平和のとりでを築き、戦争をなくしたいと思った。」

ポーちゃんのおかげで、私たちの想いも届けられました。
ありがとうございました!!
来年もよろしくお祈りします。



ポーポキ・ピース・チャレンジ!

ー ポーポキ・ピース・プロジェクトによる平和のためのトークイベント ー

もりずみたかし

森住卓さんによる「レンズを通しての平和といのち」

佐々木美智



2010年1月8日(金)～1月18日(月)、神戸大学・灘区まちづくりチャレンジ事業助成により「ポーポキ・ピース・チャレンジ!」と題して、ポーポキ・ピース・プロジェクトによる平和のための写真展と関連イベントを神戸学生青年センターにて開催しました。今回のテーマは「いのち」と「平和」。イラク・湾岸戦争の子どもたち、セミパラチンスク(現カザフスタン)で核実験の死の灰を浴びた人たち、米軍が湾岸戦争等で使った劣化ウラン弾の影響などの取材を続けてこられたフォトジャーナリ

ストの森住卓さんをお招きして、Part 1『いのちって、なに色?』森住卓 平和のための写真展」<2010年1月8日(金)～1月18日(月)>、Part 2 講演:「レンズを通しての平和といのち」(講師:森住卓)<2010年1月8日(金)>、Part 3「灘のピース・マップづくり」<2010年1月9日(土)>を3本柱に「いのち」と「平和」について、皆さんと一緒に考える機会を持ちました。

Part 2の森住さんの講演会では、世界のあちらこちらで行われている「核実験」をテーマにお話していただきました。はじめに、時系列で世界の核保有国による核実験が何回行われたかと視覚的に理解できる映像を見せていただき、1945年から1998年の53年間でなんと2053回もの核実験が行われ、これは、1年間に約39回行われている計算になることが分かりました。続いて、その核実験による影響について、セミパラチンスク(現カザフスタン)とマーシャル諸島の例についてお話していただきました。なかでも衝撃的だったのが、旧ソ連が1953年に行った水爆実験では、水爆の父と呼ばれるサハロフ博士が実験地域の住民の避難を軍に勧告したにも関わらず、結果的には42人の男性を村に残し、意図的な人体実験が行われたということでした。その後、検査はするものの、治療はされず、41人は死亡。森住さんは生存者1名の方を写真に収めています。そして最後にヒロシマ・ナガサキに投下された核爆弾から始まり現在まで行われている核実験の威力を、手からこぼれ落ちるBB弾の弾数で表現された映像を見せていただき、その威力は益々増大していることが分かりました



講演会には29名の方にご参加いただきました。参加者から「核の脅威をどう伝えるか。」という質問に対し、「第一に、被害者の実態を正確に伝えること。そして、ただ単に、ひど

い状況でかわいそうだと感情に訴えるだけではなく、核実験を行った政府側の情報にも留意して伝えていくべきだと考えている。」と森住さんのポリシーを伺い知ることができました。

そして、講演会について「核実験の数の多さに驚きました。ビキニ環礁の水爆実験については日本漁船の被曝についてしか知りませんでした。被害の事実をおそらくアメリカ国民もあまり知らされていないのかもしれませんが、だからこそ、森住さんのようなジャーナリストの仕事が大切なのだと思います。」や、「データ、数、目でみるとすごく心に留まりました。命がけの映像ありがとうございます。」等多数のご意見、ご感想をいただきました。

「核実験」という問題から、「ポーポキ・ピース・チャレンジ！」のテーマである「いのち」と「平和」について考える良い機会になったのではないのでしょうか。森住さん、貴重なお話をありがとうございました。そして、ポーポキ・ピース・プロジェクトはこれからもみなさんと「平和」について考える機会をもち、それぞれが平和のためにできることを考えるきっかけになれば良いなと思います。

*講演の写真などは「ポーポキ通信」No.54



ポーポキ・ピース・チャレンジ in 灘！ピース・マップづくりに参加して

廣瀬 優

先週の1月8日から森住卓先生の写真展、9日はピース・マップづくりが神戸学生青年センターで開催されました。森住卓先生が撮られた紛争地域の写真は、核実験やウランによる放射能で被曝した子どもたちの写真がメインで、



生々しく、目を背けたくなるような事実が映し出されていました。しかし、そのなかでも必死に平和を訴えている人々やカメラに笑顔で笑いかける子どもたちの写真は、平和について深く考えさせられるものでした。

9日に行われたピース・マップづくりは、アレキサンダー先生と森住先生を中心に「平和」をテーマにしたワークショップから始まりました。ピース・マップづくりとは、五感を使いながら道を歩き、それぞれがみつけた平和をグループで話し合い、最も平和だと感じた場所とそれぞれが平和だと感じた場所を地図に書き記すことで「ピース・マップ」を作成します。ワークショップでアレキサンダー先生からいただいたアドバイスをもとに、それぞれが五感を使い平和の色や平和の音などについて考えながら私たちの身の回りにある平和を探しに行きました。平和を探すため、五感を使ってその景色を楽しみ、写真を撮ったり、メモをとったりなどして



ワークショップから始まりました。ピース・マップづくりとは、五感を使いながら道を歩き、それぞれがみつけた平和をグループで話し合い、最も平和だと感じた場所とそれぞれが平和だと感じた場所を地図に書き記すことで「ピース・マップ」を作成します。ワークショップでアレキサンダー先生からいただいたアドバイスをもとに、それぞれが五感を使い平和の色や平和の音などについて考えながら私たちの身の回りにある平和を探しに行きました。平和を探すため、五感を使ってその景色を楽しみ、写真を撮ったり、メモをとったりなどして

注意深く道を歩きました。私たちは六甲周辺を歩いていたのですが、参加するまではゆっくりと道の風景を楽しみながら歩く機会はありませんでした。しかし、周りのおいや音などを感じながら歩くことで、様々な平和が見えてきました。天候にも恵まれ、参加された方々と一緒に楽しみながら歩けたこともすごく平和な時間でした。普段歩いていて気にも留めなかった道が、五感を使い意識しながらその場所を歩くことで、平和がたくさんみつかりました。花のつぼみや太陽に反射して輝く花々、友達と笑顔で話しながら下校する高校生、陽だまりでくつろいでいるネコ、澄み切った青空、冬のおい、公園で無邪気に遊ぶ子供たちなど、普段私たちの目にする光景がとても平和だと感じました。

一時間歩いた後、センターに戻ってそれぞれが感じた平和を話し合いました。私たちのグループは、かつて阪神・淡路大震災の後に設立された仮設住宅であり、今は子どもたちが笑顔で遊ぶ公園という意味も込めて公園を選びました。今回の参加で、戦争がないことが平和だとか、暴力がないから平和であるというだけでなく、平和は実はすぐ私たちの身近にあることに気付きました。「平和」というと、私たちにとって遠いもののように感じますが、ただ日頃目を向けていないだけであり、いつも私たちの近くにありました。今回参加させていただいたことで、今まで気付かなかったことが見えてきて、以前より平和を身近に感じることができました。今回は新鮮な体験をさせていただきありがとうございました。また、多くの方々にお会いできることを楽しみにしています。

出来上がったピース・マップ



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 20

新しい年にゆっくりなれるため、ストレッチ・ポガからはじめましょう！

1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. 次に、四つ足になって、線中、首、腕をストレッチ！
3. 首を後ろへ・・・でも、行きすぎないように！
4. そして、今度は頭を腕の間を通して、お腹の方へストレッチ。
5. できた、できた!!! では、リボンと一緒にできたポーズをどうぞ。



第20回目のポガ・レッスンはこれで終わります。おつかれさまです！毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。



一緒にいかが？

2010.1.30 「人間は平和を創ることができるのか？」 13:30~16:30 会場：大阪市立総合生涯学習センター。お問い合わせ・申し込み：電話・ファックス：06-6428-1402（今村）・メール info@dankaiaction.jp。主催：団塊アクションネットワーク [URL: http://dankaiaction.jp](http://dankaiaction.jp)
500円

2.9 ポー会 19:00-21:00 神戸YMCA 304号室 お待ちしています！

2.11 「YMCA ポーポキ・ピース・ワークショップ」 国際交流 DAY 三田市国際交流協会 三田市まちづくり協働センター（三田駅前キッピーモール6F）多目的ホール。13:45-15:45。入場無料、事前申し込み。Tel:079-559-5164; Fax: 079-559-5173。

*この日に読み聞かせや本の販売などのお手伝いしたい方は、popokipeace@gmail.comへ

2.27（土）- 28（日） 合宿にじっくりポーポキ!!!

中日本／西日本地区YMCA第10回（2009年度）グローバル教育研修会。

会場：六甲山YMCA；対象：YMCAの国際活動・グローバル教育に関心のある方。

定員：30名；参加費：10,000円（研修会時全ての食事・宿泊費含）。

問合先：最寄のYMCA国際担当へお問合せください。詳しくは：

<http://www.kobeymca.or.jp/kobe/inter/10thglobalrokko.pdf>

ポーポキinメディア

- ・ FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine <http://popoki-peace.cocolog-nifty.com/blog/2010/01/in-on-12ca.html>
- ・ "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- ・ 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- ・ 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- ・ 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- ・ 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- ・ 「『ポーポキ、友情って、なに色？』」「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- ・ 「友情って・・・考える絵本」 朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- ・ 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」 れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- ・ 「カティング・エッジ」 第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2』」(レベッカ・ジェニスン) p.3
- ・ 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- ・ 「ポーポキ、平和ってなに色？」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- ・ 「ポーポキ、ゴミってなに色？」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- ・ 「友だちになってくれませんか？」 RST/ALN 2009.2.22
- ・ ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介していただきました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の6CHをクリック。
- ・ やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- ・ 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- ・ 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- ・ 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」2008.10.8. 10面
- ・ 「社説 終戦の日」神戸新聞 2008. 8. 15
- ・ 中国新聞「核廃絶への視点」2008. 7. 27 (核抑止論について・・・。3時間!?!にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに・・・。)
- ・ (社)ひょうご部落解放・人権研究所発行の機関誌『ひょうご部落解放』(2008. 6月(夏))に「人権宣言 60周年」のポーポキ・ポスターの一部も載っていますよ!



* ポーポキ通信のバックナンバー:<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

私にとってのポーポキ

藤室玲治



わたしが最初に「ポーポキ、平和って、なに色？」を手にとったのは、2年ほど前だったと思う。そのときは(申し訳ないけれど)、アレキサンダー先生の描くポーポキの絵が可愛いとは思ったものの、子どもの向けの読み物で、自分にはあまり関係がないのではないかと考えていた。

それからしばらくして。身近な人間関係で、つらいことやしんどいことがあった。そんなとき、はじめてこの絵本をちゃんと読んでみた。

絵本の中には、ポーポキとその仲間たちが、それぞれに「感じる」平和がある。平和とは、まず「感じる」もの、そしてそこから考えていくものだというのがポーポキの絵本のメッセージだと思う。ポー会の活動も平和を感じることを大事にしていると思う。

自分は平和を感じてきたか？、他の人に平和な感じを与えていたか？、自分の平和を大事にしていたか？、他人の平和を(自分にとって違和感があっても)尊重していたか？

最近、ポーポキにそんなことをつぶやく自分がある。



写真:現在・神戸大学学生ボランティア支援室のコーディネーターの筆者。台風9号の被害を受けた佐用町では、学生と一緒に「足湯ボランティア」をしました(8月16日撮影、一番手前が筆者)。足をタライの湯につけてもらい、手をマッサージします。

このとき、足湯をしながら「消防の人や警察の人、ボランティアが来ると、なんだか故郷がモノモノしくなってしまうと悲しい。助けてくれるのはありがたいけど……」という話を被災した人から聞きました。確かに「災害ボランティアが来る」って平和じゃない。もちろん、ボランティアが悪いのではなく、状況が悪いのですが。そんな中でも、足湯ボランティアで、被災した人にほっこりと「平和」を感じてもらえればと思っています。

さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一円 1500円 何円でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!